

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 3.23-24



Race Report



Audi Sport
customer racing



Customer Racing



AMG
MOTORSPORT



Super Taikyu 2019 Series Round-1 / SUZUKA

(2019.3.23-24)

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 3.23-24

BRP
BIRTH RACING PROJECT

スーパー耐久シリーズ2019開幕戦、ホームコース鈴鹿での5時間の激戦を戦い抜き、ST-TCRクラスの19号車Audi RS3 LMSは予選では見事2年連続ポールポジション獲得し決勝は惜しくも2位入賞。そしてST-Zクラスの190号車AMG GT4は3位入賞で終わりました。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2019年3月23日～3月24日に開催された「スーパー耐久シリーズ第1戦 鈴鹿サーキット」において、3年連続となるST-TCRクラスに19号車 Audi RS3 LMSを投入、そして新たにST-Zクラスに190号車Mercedes AMG GT4を投入して2台体制で参戦し、19号車Audiは実力を発揮して、予選では2年連続ポールポジションを獲得するも、決勝では惜しくも2位入賞となり、190号車AMGは3位入賞のダブル表彰台獲得で開幕戦を終えました。

【3月21日(木)フリー】天候:晴れ 路面:DRY

レースウィークは木曜日からスタートしました。2台とも順調にテストメニューをこなし走行を終えました。いよいよ2019年のS耐も開幕となり、シリーズチャンピオンを目指して、地元コースでの大勝負の緊張感が高まるレースウィークがスタートしました。

【3月22日(金)フリー】天候:晴れ 路面:DRY

全てドライバーが鈴鹿に集結して、金曜日のフリー走行を車両・ドライバー共に順調にメニューを消化して走行を進めます。190号車AMGはミッショントラブルが発生しましたが、AMGから来日しているエンジニアと共にトラブルシューティングを行い、無事に復旧しフリー走行に戻りました。190号車AMGは国内初導入の車両という事もあり、今年は運用テスト及び車両の熟成を高める期間として設定しており、とにかく周回を重ねて経験値と実績の蓄積を図ることに専念しました。



【3月23日(土)公式予選】天候:晴れ 路面:DRY

公式予選がいよいよ始まりました。19号車AudiはAドライバーのHIROBON選手がアタックを開始して2' 12.874を叩き出し、クラス1位で予選を終え地元鈴鹿の意地を見せつける結果となりました。続くBドライバーの松本武士選手も果敢にアタックし、HIROBON選手を凌ぐ2' 12.167を記録しますが、惜しくもクラス2位となりましたが、A・Bドライバーの合算タイムでは、開幕戦鈴鹿サーキットでの決勝レースは、見事ポールポジションを獲得しました。続くCドライバーの篠原拓郎選手も見事なアタックを見せクラス1位で完璧な予選結果で終わりました。

190号車AMGはAドライバーの奥村浩一選手がアタックして、レースウィークベストの2' 15.435をマーク、続くBドライバーの水谷晃選手も果敢にアタックし、2' 16.514を記録し合算でクラス3番手から決勝レースを戦う事になりました。Cドライバー林久盛選手、Dドライバー山脇大輔選手も少ない走行時間の中で順調に車両にも慣れ、無事に予選を終え決勝に向けて準備を整えました。



【第1戦鈴鹿サーキットST-TCRクラス予選結果】

Aドライバー:HIROBON コース:DRY タイヤ:スリック 2' 12.874 クラス1位
Bドライバー:松本 武士 コース:DRY タイヤ:スリック 2' 12.167 クラス2位
Cドライバー:篠原 拓朗 コース:DRY タイヤ:スリック 2' 12.784 クラス1位

1位	No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	4' 25.041
2位	No.97	Modulo CIVIC TCR	4' 26.452
3位	No.75	AZIMUTH CIVIC TCR	4' 26.788
4位	No.501	KCMG Annika CIVIC TCR	4' 27.204
5位	No.10	IDI GOLF GTI TCR	4' 27.796
6位	No.45	BRIN・NAUB RS3 LMS	4' 28.099
7位	No.65	Phenomen Mars Audi RS3 LMS	4' 29.524
8位	No.108	冴えカノfineレーシングwithRFC	4' 31.036



【第1戦鈴鹿サーキットST-Zクラス予選結果】

Aドライバー:奥村 浩一 コース:DRY タイヤ:スリック 2' 15.435 クラス3位
Bドライバー:水谷 晃 コース:DRY タイヤ:スリック 2' 16.514 クラス3位
Cドライバー:林 久盛 コース:DRY タイヤ:スリック 2' 19.230 クラス3位
Dドライバー:山脇 大輔 コース:DRY タイヤ:スリック 2' 18.713

1位	No.2	ケーズフロンティアSYNTIUM KTM	4' 24.345
2位	No.3	ENDLESS AMG GT4	4' 24.547
3位	No.190	BRP Mercedes AMG GT4	4' 31.949



【3月24日(日)決勝】天候:晴れ 路面:DRY**【19号車 BRP Audi Mie RS3 LMS 決勝レース】**

渾身の予選アタックでポールポジションを獲得して、チームの士気も最高潮の中決勝レースがスタートしました。スタートドライバーは松本武士選手が務めて、オープニングラップの1コーナーをホールショットで獲得して、首位のまま後続を引き離しにかかりますが、6周目に宿敵童夢97号車にパスされ2位で27LAPを走行し、FSY導入のタイミングで篠原拓郎選手にドライバーチェンジを行い、レースに復帰。FCYやSCが入り荒れたレース展開の中25LAPを走行して、SCのタイミングでHIROBON選手にドライバーチェンジを完了。各車のピットタイミングでクラストップを奪還し安定したペースで力走。そして最後のドライバーチェンジで再び松本武士選手にドライバーチェンジをして、6位でコースに復帰してゴールを目指します。各車のピットタイミングとコース上でのオーバーテイクによりクラス2位まで上昇し、最後まで壮絶な宿敵童夢97号車とのバトルを繰り広げ、クラス2位でチェッカーを受ける。

【第1戦鈴鹿サーキットST-TCRクラス決勝レース結果】

1位 No.65	Phenomen Mars Audi RS3 LMS	120	5:02'34.344
2位 No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	120	5:02'47.223
3位 No.501	KCMG Annika CIVIC TCR	120	5:03'07.347
4位 No.97	Modulo CIVIC	120	5:03'10.890
5位 No.45	BRIN・NAUB RS3 LMS	120	5:03'33.329
6位 No.75	AZIMUTH CIVIC TCR	120	5:03'57.302
7位 No.10	IDI GOLF GTI TCR	118	5:02'38.600

以上 順位認定:

No.108 冴えカノfineレーシングwithRFC 77 5:04'04.731

【190号車 BRP Mercedes AMG GT4 決勝レース】

スタートは奥村浩一選手が務めて、混乱のスタートを無事に凌ぎ周回を重ねます。28LAPしたところで最初のFCYのタイミングで、林久盛選手にドライバーチェンジを行い、順調に周回を重ねますが、SC導入のリスタート時の追い越しがあり、ドライブスルーペナルティの裁定を受ける。28LAPし、水谷晃選手にドライバーチェンジを行い、21LAP安定したペース走行し最後のドライバーチェンジで山脇大輔選手にドライバーチェンジを行い、接触・ペナルティなく38LAPしてクラス3位でチェッカーを受ける。

【第1戦鈴鹿サーキットST-Zクラス決勝レース結果】

1位 No.3	ENDLESS AMG GT4	120ラップ	5:02'57.232
2位 No.2	ケーズフロンティア SYNTIUM KTM	118ラップ	5:03'31.176
3位 No.190	BRP Mercedes AMG GT4	115ラップ	5:02'56.850

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 3.23-24

BIRTH RACING PROJECT

【コメント】

今年はTCRとGT4の2台体制でスーパー耐久に挑むことになり、開幕戦から今年も地元鈴鹿でのレースとなりました。昨年のポールポジションからのリタイアという悔しい結果から1年、待ちに待ったリベンジの時を迎えました。19号車Audiはその期待に見事答えて、2年連続ポールポジションを獲得してくれましたが、決勝レースは惜しくも2位で終わりました。190号車AMGは金曜日の車両トラブルから回復して、3位で完走することができ、テスト参戦という課題をしっかりとクリアすることができました。引き続き車両と運用のレベルを上げてしっかり準備していきたいと思います。地元鈴鹿での開幕戦は最良の結果とはなりませんが、全スタッフ一丸となって最善は尽くせたと自負しております。

まだシーズンは始まったばかりですが、残り5戦気を引き締めてチーム一丸となって戦ってまいります。

この場を借りましてご支援・ご声援頂きました、すべての皆様に感謝とお詫び申し上げます。

また引き続きのご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。

株式会社バースモータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト
代表取締役 奥村 浩一



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 3.23-24



■BRPシリーズパートナー



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先：office@brp.gr.com



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com